



各位

平成21年2月2日

会社名 エルナー株式会社
代表者名 代表取締役社長 青野英敏
(コード番号:6972 東証第二部)
問合せ先 執行役員経営企画部長
安藤正直
TEL (045) 470-7253

業績予想の修正及び期末配当予想の修正並びに特別損失の計上に関するお知らせ

平成20年11月11日の決算発表時に公表した業績予想及び平成20年8月8日公表の配当予想について以下のとおり修正いたします。

1. 業績予想の修正

(1)通期連結(平成20年1月1日～平成20年12月31日) (単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成20年11月11日発表)	40,000	2,000	1,000	600	14円42銭
今回修正予想(B)	38,700	1,630	△90	△1,930	△46円39銭
増減額(B-A)	△1,300	△370	△1,090	△2,530	—
増減率	△3.3	△18.5	-	-	—
(ご参考)前期実績 (平成19年12月期)	39,203	2,131	1,435	1,292	31円08銭

(2)通期個別(平成20年1月1日～平成20年12月31日) (単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成20年11月11日発表)	35,200	1,000	500	460	11円05銭
今回修正予想(B)	33,570	820	110	△2,220	△53円36銭
増減額(B-A)	△1,630	△180	△390	△2,680	—
増減率	△4.6	△18.0	△78.0	-	—
(ご参考)前期実績 (平成19年12月期)	33,781	1,026	935	194	4円68銭

(3)理由

前回予想時(平成20年11月11日)よりも、更に経済環境が深刻化していることからくる製品需要の減少に加え、急激に円高が進行しております。これらの経営環境に対応するため、平成20年12月25日公表の「コンデンサ事業の構造改革に関するお知らせ」のとおり、事業構造の改革を実施することといたしました。これに関わる損失および平成20年12月26日公表の「和解による訴訟の解決に関するお知らせ」の訴訟関連費用等の特別損失を計上することとなりました。

上記の外部要因及び施策の実施により、売上高及び営業利益等の各利益が連結・個別ともに予想を下回る見込みとなりました。

2. 配当予想の修正

(1)平成20年12月期配当予想修正の内容

(普通株式)

基準日	1株当たり配当金		
	中間期末	期末	年間
前回発表予想 (平成20年8月8日発表)	—	3円00銭	3円00銭
今回修正予想	—	0円00銭	0円00銭
当期実績	—	—	—
前期(平成19年12月期)実績	—	3円00銭	3円00銭

(A種優先株式)

基準日	1株当たり配当金		
	中間期末	期末	年間
前回発表予想 (平成20年8月8日発表)	—	2円00銭	2円00銭
今回修正予想	—	0円00銭	0円00銭
当期実績	—	—	—
前期(平成19年12月期)実績	—	2円00銭	2円00銭

(2)理由

上記の業績修正に伴い誠に遺憾ではございますが、期末配当予想を無配に修正いたします。
株主の皆様には、深くお詫び申し上げますとともに、早期復配を目指して努力いたす所存でございますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

3. 特別損失の計上について

コンデンサ事業の構造改革に伴い、連結損益計算書上は1,264百万円、個別損益計算書上は1,902百万円(うち、貸倒引当金繰入額1,800百万円)の特別損失を計上するほか、連結・個別ともに訴訟関連損失148百万円及び投資有価証券評価損55百万円を特別損失として計上する見込みとなりました。

また、上記のほか、連結損益計算書において、コンデンサの構造改革施策のうち持分会社の閉鎖に際して発生が見込まれる、固定資産処分等の損失の当社持分647百万を、「持分法による投資損失」(営業外費用)としてに計上する見込みです。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日において入手可能な情報に基づいて、合理的に判断した予想であり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上